



UNDERWATER EQUIPMENT

GX7 MK III ハウジング

取扱説明書



このたびは UMIUMI GX7 MK III ハウジングをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みいただき、十分にご理解のうえ正しくお使いください。

お客様の取り扱い上の不注意によって、ハウジング/カメラ/レンズ/その他アクセサリなどの破損/損傷などが生じた場合、弊社はその一切の責任を負いかねます。
万一、本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影内容や撮影に要した諸費用、撮影により得べかりし利益の喪失など）が発生した場合においても、弊社はその一切の責任を負いかねます。

アフターサービス

保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。
保証期間後も修理によって使用可能なときは、ご希望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。

お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

販売元

UMIUMI 株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野 2 丁目 9-1 MTK ビル 6F
TEL/FAX : 03-6284-2383
e-mail : info@umiumi.jp
http://www.umiumi.jp/

安全上のご注意 必ずお守りください

- Oリングの取り付けは確実に行う。
- 長い爪やつけ爪でパチン錠を開けたり閉めたりすると、爪が割れたり折れるなどをして怪我をする恐れがあります。
- 砂やホコリなどの多い場所で取り付け作業を行わない。
- ハウジングを落としたりぶついたりといった強い衝撃を与えない。
- 砂浜や船のデッキ上など直射日光の当たる場所や、車のトランク内など高温となる場所に放置・保管しない。
- 使用後は真水で塩分をよく洗い流した後、タオル等で乾かす。また、火や発熱器具で乾燥させない。
- アルコール・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤などの油脂/化学製品に触れさせない。
- 高湿度下、温度変化の激しい場所に放置・保管しない。
- お子様の手の届かない所に保管する。

お手入れ / 保管

- 使用後は真水で塩水をしっかり洗い流した後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置いてよく乾燥させてください。
- 高湿度下、極寒の場所、温度変化の激しい場所を避けて保管してください。
- オーバーホールは、1年に1回を推奨いたします。

基本カラー

- ・パールホワイト
 - ・マットブラック
 - ・ガンメタリック
- ※カラーオーダー可能

同梱品

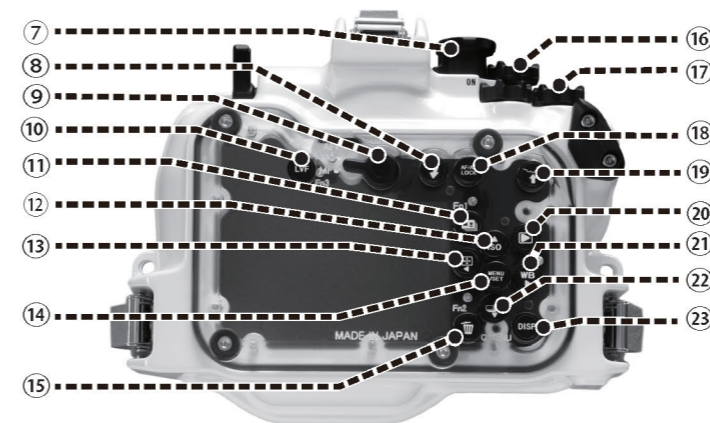
ご購入時、以下のものがパッケージに入っているかご確認ください。



- ① スペアOリング
- ② Oリングリムーバー
- ③ グリス
- ④ カメラ固定台座

主な仕様

適応カメラ：パナソニック LUMIX GX7 MK3
● 主要材質：ABS 樹脂
● 寸法：176×152×109.5 重さ 約 1300g(カメラ、レンズ含まず)
● 耐圧水深：60M

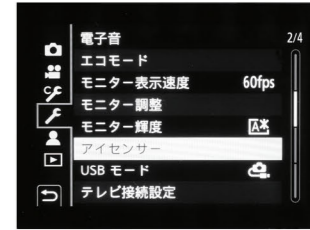


- ① パチン錠上 ② 前ダイヤル ③ シャッターレバー
- ④ パチン錠右 ⑤ フォーカス (ズーム) ダイヤル ⑥ パチン錠左
- ⑦ 電源ダイヤル (録画ボタン) ⑧ ストロボ ON ボタン
- ⑨ フォーカスモードレバー ⑩ LVF / Fn3 ボタン
- ⑪ フォーカスセレクト / Fn1 ボタン ⑫ ISO / 上ボタン
- ⑬ オートフォーカスモード / 左 ボタン ⑭ MENU / SET ボタン
- ⑮ 消去 / Fn2/Q, MENU ボタン ⑯ 露出補正ダイヤル
- ⑰ モードダイヤル ⑱ AF / AE LOK ボタン ⑲ 後ダイヤル
- ⑳ 再生ボタン ㉑ WB / 右 ボタン ㉒ ドライブモード / 下ボタン
- ㉓ DISP ボタン

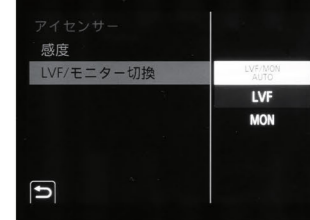
カメラ側の設定 (※重要です。必ずやってください)

● GX7 MK IIIはアイセンサーに目を近づけると自動的にモニター表示からファインダー表示に切り替わる設定になっています。水中撮影の場合それでは不便なので切り替わらないように設定を変更する必要があります。以下の手順で行ってください。

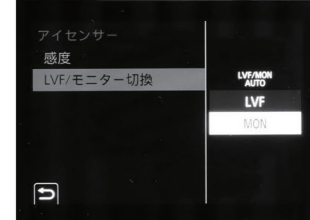
MENU ボタンを押します
カメラマークの3つ下にある「セットアップ」にいき、その中にある「アイセンサー」を選択します



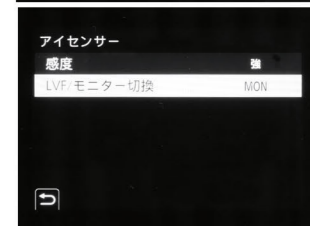
下の段の「LVF/モニター切替」を選択します



ここで一番下の「MON」を選択します



この状態になったら完了です



カメラのセッティング方法

カメラの三脚穴にカメラ固定ベースを取り付けます



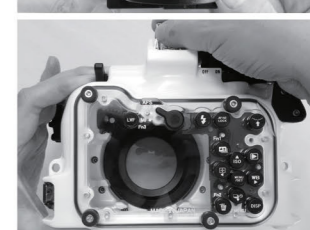
出っ張りがカメラ前面方向になります。向きを間違えないように注意して取り付けて下さい



横から見るとこの様な状態になります



3つのパチン錠を開きます。ハウジングを片方の手で押さえながら、まずは上のパチン錠から開けて下さい



次に左右のパチン錠を開きます



ゴミや埃のない清潔な場所に置きましょう



付属のOリングリムーバーでOリングを外します



麺棒などでOリングの溝をきれいにします



リアパネル側は、Oリングが当たる溝の外側の平らな部分(5mm程)をきれいにしてください



グリスを適量指にとって、Oリングにまんべんなく塗ります



Oリングをハウジングにはめます



全体をよく見てゴミや髪の毛などが付いていないかチェックしてください



ハウジングに、カメラを上から真っ直ぐに入れます



カメラを入れるとこのような状態になります



カメラレンズにフォーカス(ズーム)ギアがついている場合、ハウジング側のギアとカメラ側のギアがちゃんと噛み合い動くかどうか回して確認して下さい



左右、上部の順番でパチン錠を閉めます



電源の入れ方

電源ダイヤルをOFF(●)の位置で上から押してONの位置まで回し、電源が入るか確認してください



電源を切るときも、ONの位置で上から少し押しながらOFF(●)の位置まで戻すと電源が切れます



最後に、各ダイヤルやレバーが正常に動くかどうかチェックしてください

ポートの取り付け方

①ポートはバヨネットマウントになっています。ハウジングにカメラを装着するとポートにロックがかかりポートが不用意に回らない構造になっています

※カメラがハウジング内にあるとポートにロックがかかりポートを取り外すことも取り付けすることも出来ません。必ずカメラがハウジング内に無い状態でポート交換を行って下さい



ハウジング左側の●印にポートの●印を合わせます



そのまま真っすぐ上から押さえるように入れます



90° 右回りに回します。●印にポートの●印を合わせます

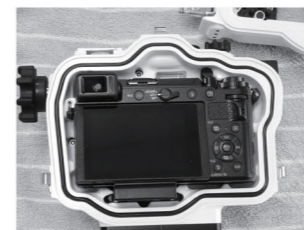


ダイビング後のメンテナンス方法

水槽やシャワーで海水を洗い流した後、タオルでしっかりと水を拭き取ります



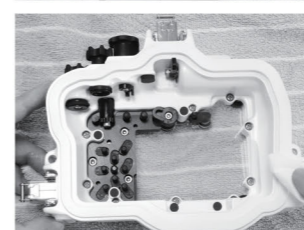
ダイビング後はパチン錠を静かに外すことを心がけましょう。パネルを開けると、構造上Oリングの溝の手前部分に水滴が付いていることがあります



この水滴をティッシュや綿棒などで必ず拭きとってください



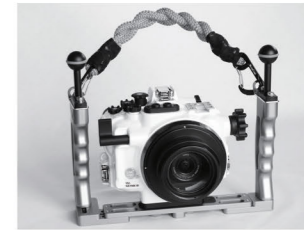
同じくリアパネル側の溝の手前にも水滴が付いているので拭きとってください



オプション

■グリップ仕様

【オプション内容】
グリップセット+ロングシャッター+ダイレクトベース×2+ハンドストラップ



■ハンドストラップ仕様

ストラップ、ストラップベース×2



■サークルアーム仕様

※注文時に指定

